

南郷地域を私たちが盛り上げたい!!

子どもたちが考えたメニューが実現

南郷地域をもっとたくさんの人に知ってもらい、地域を盛り上げたい。そんな思いを胸に、南郷小学校の子どもたちが総合的な学習の時間で考えたオリジナルメニューが、このたび給食で提供されました。地域への愛着と誇りを原動力に、たくさんの人と協力して実現した挑戦を紹介します。

地域への愛着から始まった挑戦

南郷小学校の6年生の子どもたちは、昨年度から総合的な学習の時間で地域の課題解決に取り組んできました。まずは地域の魅力探求を進める中で、改めて自然の豊かさや地域の人の温かさを認識しました。そして来客や人口減少の課題に気が付き「自分たちにも地域を盛り上げるきっかけがつかれないか」と考えるようになった子どもたち。やがて、南郷地域の特産品であるトマトや日本酒を使った商品開発を進めることを決めました。

特産品を活かしたメニューを地域の人だけでなく県内外の人にも楽しんでもらいたい。その思いから、オリジナルメニューをつくり、様々な人が利用する「道の駅きらら289」で提供してもらえないか。試行錯誤を重ねながら、子どもたちは「みんなに喜んでもらえるメニュー」を目指して何度もアイデアを出し合いました。

先生はこの取組のねらいについて次のように語ります。「一番は子どもたちが課題を見つけ、解決に協働して取り組む力を伸ばすことでした。自分たちが住んでいる地域に関心を持ち、自分たちで魅力を見つけることが大切です。考えた発想を実現する力、行動力を伸ばすとともに、周囲の大人や地域の人達の力を借りて叶える成功体験を積んでほしいと思いました。」子どもたちが地域への誇りを持ち、自ら行動する力を育むことを目指した取組です。

このメニューをいろんな人に伝えて、地域をサイコーな場所にしたい!



▲6年生 本間 瑛人さん

たくさんの人に南郷地域を知ってもらって、もっと盛り上げたい!



▲6年生 馬場 悠さん



道の駅きらら 289
10月登場予定!!

トマトタルタルのチキン南蛮

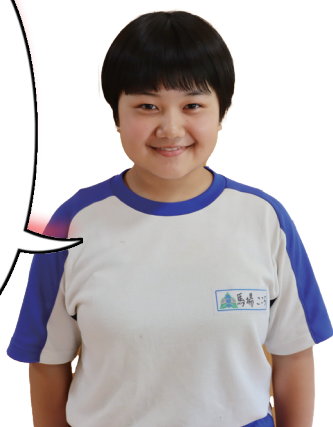
給食で実現したオリジナルメニュー

9月25日、子どもたちのメニュー「トマトタルタルのチキン南蛮」が西部地域の学校の給食に登場しました。この日は特別な空気が教室に流れました。自分たちのアイデアが形になり、みんなが食べてくれる喜びと少しの緊張感が入り混じった瞬間です。

栄養士の先生は、給食での提供実現について「トマトタルタルは大量調理に向いており、大きな調整なく実現することができました」と評価。また、「子どもたちの自由な発想があったからこそ、大人では思いつかないようなメニューになったと思います。調理員さんの技術が素晴らしいこともあり、実現することができました」と、子どもたちのアイデアと地域の協力の相乗効果を語ります。

給食の時間には、他の学年の児童からも「トマトが苦手だけど、これはおいしくて食べられました」「色がきれいでした」といった声が上ががり、6年生の子どもたちは安心と喜びの表情を浮かべていました。

給食を食べ終わった後、みんなに美味しいと言ってもらえて嬉しかったです。



▲6年生 馬場 こころさん

道の駅での提供 地域を思う挑戦は続く

給食での提供を実現した子どもたちの次の目標は、道の駅きらら289で商品化が決まった自慢の南郷トマトを使ったメニューをより多くの町内外の人に食べてもらうことです。地域を支える道の駅との連携が、子どもたちの挑戦を後押ししました。先生は「子どもたちが南郷地域を盛り上げたい、興味を持ってもらいたいという強い思いで一生懸命考えました。ぜひこれを機会に南郷に興味を持っていただけると期待しています。また今後も、地域と学校の相互協力を深めていきたいと思っています。」と語ります。

子どもたちの地域を思う挑戦はこれからも続きます。道の駅での販売を通じて、さらに多くの人に南郷の魅力が伝わることを期待します。子どもたちが見つけた地域の価値を、大人たちも一緒に広げていく。そうした相互協力の中で、南郷地域はさらに輝きを増していくことでしょう。

タルタルとトマトの相性がとてもよく、いろいろな野菜ができています。



▲6年生 菊地 瑠杏さん



試作会の様子



給食の様子

たくさんの人の協力で実現したので、関わってくれた人に感謝しています!



▲6年生 近藤 来愛さん